

北の森林 国有林



北海道森林管理局

迎春



むいね 無意根山～千尺高地から へそ 蝦夷富士「羊蹄山」を臨む



国民の森林・国有林

地球を守る木 みんなの財産国有林

年頭所感



「国民の森林」としての取組を全力で

北海道森林管理局長 山田 壽夫

平成21年の新春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、新設住宅着工戸数が伸び悩む中、ロシアの丸太輸出税の80%への引き上げ予想などによる世界的な資源不足から、北海道産の木材、特にカラマツ材の需要が増加したものの、その後の米国のサブプライムローン問題に端を発した100年に一度とも言われる金融危機等に伴う世界経済の減速、さらにはロシア丸太輸出税引き上げの延期などにより、林業・木材産業の展望は不透明感を増したものとなりました。

一方で、地球温暖化の要因である温室効果ガスの具体的な削減数値目標やその達成方法を定めた京都議定書の第一約束期間を迎え、昨年7月に開催された北海道洞爺湖サミットでは、地

球温暖化問題が主要議題として議論されるなど、地球温暖化防止に向けた国民の機運はますます高まっています。また、昨年は生物多様性基本法が制定され、さらには明年、生物多様性条約第10回締約国会議が我が国において開催されるなど、生物多様性の保全に対する国民的関心が益々高まることが予想されます。

こうした中で、北海道森林管理局としては、我が国の削減目標6%のうち3・8%を占める森林吸収量1300万炭素トン目の目標達成を図るため、「美しい森林づくり推進国民運動」の展開を通じ、間伐や針広混交林化等の多様な森林づくりを一層推進するとともに、国民の安全・安心のための治山事業、森林土木工事への間伐材の積極的な利用、労働災害の未然防

止等に引き続き取り組んでまいります。

また、優れた自然環境を有する天然林の適正な維持管理を推進するため、外部の専門家からなる「生物多様性検討委員会」においてご意見をいただきつつ生物多様性に資するプロジェクトを実施し保護林を拡充するなど、多様で健全な森林づくりを引き続き進めてまいります。

さらに、林業・木材産業の再生に向けて、民営一休となった低コスト作業システムの構築・普及や、素材のシステム販売等の積極的な推進による素材生産・流通・加工の各段階でのコスト削減など北海道の林業・木材産業の活性化への取組を進め、不透明な展望の中でも、産学官の皆様との協働により明日への確実な一

歩を築ける年にしたいと考えております。

なお、国有林野事業につきましては、行政改革推進法において一般会計化・一部独立行政法人化の検討を進めることとされ、本年の通常国会に関係法案を提出することとなっております。「国民の森林」としての取組の一層の強化を図ることにより、引き続き国民の皆様から信頼される国有林とすべく全力で取り組んでまいりますので、今後とも国有林野事業に対するご理解とご支援をお願いいたします。皆様方の益々のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



日本森林林業振興会会長賞

遺伝的多様性に着目した研究発表

平成20年度 国有林野事業業務研究発表会



研究発表を行う豊田自然再生指導官（左）と荻原所長

十一月二十七日（木）、農林水産省（林野庁）において、「平成二十年度 国有林野事業業務研究発表会」が開催されました。

「遺伝的攪乱を回避することとは、自然再生を進めていく上で重要だが、今まであまり顧みられたことがなく、ここに着目した取組は大変意義深い」と高く評価されたものです。

今回の受賞は、今後の研究発表に臨む職員にとっても大励みになることと考えています。

（指導普及課）

北海道森林管理局からは森林技術部門二課題、森林ふれあい部門三課題の発表を行いました。

その中で、森林ふれあい部門で石狩地域森林環境保全ふれあいセンターの荻原所長・豊田自然再生指導官が発表した「市民参加型植林における遺伝的多様性配慮の実態について」が、日本森林林業振興会会長賞を受賞しました。これは

積丹町・水源林整備事務所・石狩署が協定

民有林と国有林が一体となった森林づくり

石狩森林管理署



左から瀬戸口石狩森林管理署長、松井積丹町長、米山札幌水源林整備事務所長

十一月二十日（木）、積丹町において北海道後志支庁林務課長ほか関係者出席のもとで積丹町と（独）森林総合研究所札幌水源林整備事務所と石狩森林管理署

このような中、本協定を締結し、作業道等の路網の設定を連携して行うことによる効率的な間伐等の実施や、それぞれが管轄する森林が隣接する三団地について、共同施業団地を設定して、民有林・国有林が一体となつて森林整備を推進することになったものです。

この三者による協定締結は道内初で、協定期間は五年間、協定森林面積一、〇二〇㌥で、作業道（計画延

の三者が、「積丹地域森林整備推進協定」を締結しました。

「気候変動に関する国際連合枠組条約の京都議定書」に基づく日本の温室効果ガスの六％削減の約束を達成するためには間伐等の森林整備・保全を一層加速していくことが重要となつていま

長約二〇㌥）の設定を連携し、相互通行等により間伐作業等の効率化を図ります。なお、森林整備対象面積は一八一㌥でカラマツ、トドマツなどの間伐等を実施する予定です。

また、この共同施業団地設定は、保護水面河川に指定され、豊かな自然が残された清流「余別川」を守る取り組みでもあります。

余別地区町有林の森林整備を進めるには、この川を渡つて路網を整備するだけでなく、同町にはこの豊かな自然環境を保全しながら森林整備をいかに推進していくかとの課題がありました。が、「余別川」に影響がないよう本協定により国有林から連結して路網整備を進めることにより課題が解消されるとともに、地域の自然環境にも配慮しながら、民有林・国有林が連携して森林整備を推進することとなりました。

（杉村 流域管理調整官）

→冬も楽しい森林教室



1月~3月

→高校生も参加。北の国・森林づくり技術交流発表会



↑ユネスコとIUCNによる知床世界自然遺産合同現地調査



←「国民の森林づくり感謝状」を三団体に贈呈

- ・北の国・森林づくり技術交流発表会(局)
- ・GSS事業報告会(局)
- ・国・国民の森林づくり感謝状贈呈式(局)
- ・野幌プロジェクトフォローアップ委員会(札幌市)
- ・地域管理経営計画等に関する懇談会(局)
- ・国民の森林づくり感謝状贈呈式(局)
- ・留萌北部森林管理署庁舎落成式(天塩町)
- ・地域管理経営計画等に関する懇談会(局)
- ・国民の森林づくり感謝状贈呈式(局)
- ・野幌プロジェクトフォローアップ委員会(札幌市)
- ・国・国民の森林づくり感謝状贈呈式(局)
- ・野幌プロジェクトフォローアップ委員会(札幌市)
- ・留萌北部森林管理署庁舎落成式(天塩町)
- ・地域管理経営計画等に関する懇談会(局)
- ・国民の森林づくり感謝状贈呈式(局)
- ・野幌プロジェクトフォローアップ委員会(札幌市)

北海道森林管理局

2008年のできごと

→樹木保護チューブを取り付けるグリーンサポータースタッフ



→林道でマラソン大会
「北海道森林スポーツフェスタ2008 in 定山溪」



↓ウッディーホールで札幌西高オーケストラ部がコンサート



↓夜の局庁舎でパネル展「カルチャーナイト2008」



↑児童・生徒のみなさんが北海道森林管理局を見学に



↑講師が熱弁した公開講座「北海道の森林と暮らしの歴史」

- ・公開講座「北海道の森林と暮らしの歴史」(局)
- ・北の大地の森林づくり展パネル展示(札幌市)
- ・野幌森林づくり塾2008(江別市)
- ・限のブナ復元プロジェクト(黒松内町)
- ・海から森の連環を考えるシンポジウム(紋別市)
- ・北海道森林スポーツフェスタ2008 in 定山溪(札幌市)
- ・カルチャーナイト2008パネル展(局)
- ・エコ・ギャラリ「美しい森林づくり」パネル展(洞爺湖町)
- ・生物多様性の保全に資するプロジェクト委員会(日高町ほか)
- ・第4回「知床永久の森林づくり協議会」(局)

4月～6月



↑街頭でみなさんの協力をいただいた「緑の募金」

↓沢山のみなさんで賑わった各地のタケノコ自生園



↑各地で森林ボランティアのみなさんと植樹活動



↑斜里町ウトロに「知床ボランティア活動施設」オープン



←国際色豊かな参加者で森林づくり北海道洞爺湖サミット記念「国際交流森林環境フォーラム」



↑森林の恵みをみなさんに「第22回森林の市」

- ・平成20年度新規採用者入庁式（局）
- ・北海道国有林の取り組み事項記者発表（局）
- ・「緑の募金」街頭募金協力（札幌市）
- ・第6回生物多様性検討委員会（局）
- ・第59回北海道植樹祭 in 中標津（中標津町）
- ・第22回森林の市（札幌市）
- ・「知床ボランティア活動施設」オープン（斜里町）
- ・「五月」
- ・にしんの森再生プロジェクト委員会（留萌市）
- ・北海道洞爺湖サミット記念「国際交流森林環境フォーラム」（洞爺湖町）
- ・環境総合展2008パネル展（札幌市）
- ・レプンアツモリソウ保護増殖事業者連絡会議（礼文町）
- ・洞爺湖サミット記念植樹（旭川市）
- ・「六月」
- ・「四月」

9月～12月



→知床で森林のつどい2008「育樹祭」で間伐作業



→低コスト作業路作設現地検討会で表土ブロック積み工法のデモンストレーション



↑都会の真ん中で苗木づくり「札幌水源の森づくり2008」

↓子どもたちと秋の森林教室



↑知床での育樹祭でMOMOKAさんのコンサート

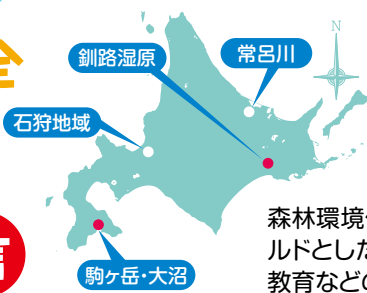


←「国有林モニター」のみなさんと植樹体験

- ・森林のコンサート（局）
- ・札幌水源の森づくり2008（札幌市）
- ・国際ブナフォーラム（黒松内町）
- ・森林のつどい2008「育樹祭」（斜里町）
- ・知床の森林を育てるエコロジカル体験ツアー（斜里町ほか）
- ・公開講座「キノコの成長と可食変化」（局）
- ・公開講座「キノコ観察会」（札幌市）
- ・低コスト作業路作設現地検討会（せたな町）
- ・「十月」
- ・国有林モニター現地検討会・会議（札幌市）
- ・第7回生物多様性検討委員会（局）
- ・レクリエーションの森リフレッシュ検討委員会（南富良野町）
- ・道民森林づくりネットワークの集い（札幌市）
- ・「十一月」
- ・緑の回廊猛禽類調査現地検討会（札幌市）
- ・「十二月」
- ・低コスト作業システム構築事業現地検討会（鶴居村）
- ・保護林管理強化対策事業検討委員会（局）

森林環境保全 ふれあい センター

通 信



森林環境保全ふれあいセンターは、国有林をフィールドとした自然再生や生物多様性の保全、森林環境教育などの活動を支援しています。

鉚路市子ども遊学館では、子どもたちに科学のおもしろさを知ってもらおうと、十一月三日・文化の日に、「青少年のための科学の祭典鉚路大会」サイエンス屋台村を毎年開催しています。



今年度は、教員、中学・高校の科学部の生徒、大学の研究室、NPOなどが、科学に関する二五のブースを出展しました。

当センターのブースで

鉚路市子ども遊学館では、子どもたちに科学のおもしろさを知ってもらおうと、十一月三日・文化の日に、「青少年のための科学の祭典鉚路大会」サイエンス屋台村を毎年開催しています。

今年度は、教員、中学・高校の科学部の生徒、大学の研究室、NPOなどが、科学に関する二五のブースを出展しました。

当センターのブースで

は、子どもたちに科学のおもしろさを知ってもらおうと、十一月三日・文化の日に、「青少年のための科学の祭典鉚路大会」サイエンス屋台村を毎年開催しています。

今年度は、教員、中学・高校の科学部の生徒、大学の研究室、NPOなどが、科学に関する二五のブースを出展しました。

当センターのブースで

科学のおもしろさ体感！ サイエンス屋台村

鉚路湿原森林環境保全
ふれあいセンター



十二月一日(月)、七飯町の南北海道大沼婦人会館において、「大沼地域自然再生検討委員会」を開催し、今年度の大沼地域自然再生等モデル事業についての検証と今後の取り組み内容の検討を行いました。

この委員会は、学識経験者、地元漁協、各種ボランティア団体及び関係機関で構成し、当日は十九名が参加する中、当センターの取り組み内容等について説明を行った後、樹木医の齋藤

連携強化で地域に根ざす 大沼自然再生モデル事業

鉚ヶ岳・大沼森林環境保全
ふれあいセンター

指導官)
(窪田 自然再生

委員を座長に議事を進めました。

委員からは「作業を共にしているワークショップなどの取り組みの継続」、「森林の多様性を十分発揮できるように更なる事業の展開」を進めるべきといった意見が出されました。

今後はこれらの貴重な意見を基に、このモデル事業が、さらに地域に根ざしたものとなるよう、各委員や地元住民などと連携を深めながら推進していきたいと考えています。

森林官 リレー

天塩岳山麓の国有林を守る

厄介者の根曲がり竹も

春には大人気のタケノコに



上川北部森林管理署
朝日森林事務所
首席森林官
山本 政治

天 塩川源流の森林を守っています

朝日合同森林事務所は、士別市の東側、朝日地区にあります。

当事務所の管轄区域

は一一、八七一畝に及び、道立自然公園に指定されている天塩岳（一、五五八畝）を源にした北海道第二位の流域を持つ天塩川があり、林産業の盛んな地域です。

ジ ヤンプ大会の里

年間を通してスキーのジャンプ競技ができる施設もあり、サマージャンプ大会が行われるなど、各種団体の合宿等でもにぎわっています。



士別市と紋別郡滝上町にまたがる天塩岳・標高1,558m

根 曲がり竹と戦う森林

管内の国有林は、根曲がり竹が自生し、森林づくり

タ ケノコ園が大人気

には厳しい条件ですが、今まで多くの先輩たちが作り上げてきた森林を、守り育てていくために職員一同で努力しているところですが。



笹の平タケノコ自生園

一方、このやっかいな根曲がり竹があることで良いこともあり、これらが密生する森林スポーツ林「笹の平」を毎年六月に「タケノコ自生園」として一般開放し、遠く札幌方面から訪れる方もいるなど、多くのタケノコ愛好家のみなさんに喜ばれています。

野と民地との境界巡視、森林整備事業の監督や検査などを行い、冬は収穫調査や造林地等の林況調査などを行ってまいります。朝日地区は、気象条件も厳しいところですが、職員全員で健康管理を心がけ、今までの以上に明るい森林事務所にしていきたいと思っております。

明 るく森林へ

当事務所では、春から秋にかけては、国有林



士別市朝日のサマージャンプ場



朝日合同森林事務所のスタッフ
(前列中央が本人)

朝日合同森林事務所

- 士別市朝日町字中央
- 電話0165-28-2233



各地からの便り



根釧西部森林管理署では、多くの方々に当署管内の国有林の四季を楽しんでいただくために「我が署の四季いろいろ」と題した2009年版の国有林カレ

ダウンロードしてね!
**国有林カレンダー
2009**
好評配布中

根釧西部森林管理署

ダウンロードはこちらから

北海道森林管理局ホームページ
<http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/kyoku/>

ンダーを作成しました。このカレンダーは、当署管内国有林の景勝地や四季折々の見所を紹介し、参加者に写真撮影などを楽しんでもらう「国有林の四季体験ツアー（夏・秋）」の参加者のみなさんから提供いただいた作品と、これまでに職員が業務の中で撮影したもののから十二枚の写真を選挙して作成したもので、A三及びA四サイズ十三ページの編集です。配布は、北海道森林管理局のホームページからダウンロードする方法で行っています。ぜひ、新年を飾るアイテムの一つとしてご利用下さい。

(横山 流域管理調整官)



親子で楽しく クリスマス リース作り

網走西部森林管理署

十一月二十九日（土）、恒例の「リース・ミニツリ作り」教室を遠軽町立遠軽小学校で行い、約五十名

の親子連れが参加しました。

これは、学社融合事業の一環として行っているもので、材料の「森の恵み」である葛ツル・マツボックリ・ニオイヒバ等は、森林管理署とまちの森林博士が山で採取し、用意しました。当日は、まず、博士から

材料の名前や特徴などの説明を受けてから、製作に入り、参加者のみなさんは、自分の用意したクリスマスグッズと自然の材料を上手に組み合わせ、楽しそうに思い思いのリースを完成させていました。

また、ストロップマツの松かさでミニツリも作りました。子どもと一緒に参加したお父さんは「なかなかこういう機会がないので大事にしたい」と話し、クリスマスシーズンの楽しい一日となりました。

(辻 森林ふれあい係長)

札幌の水源地に 森林を後世に

みずもり会議が
森林づくり活動

石狩森林管理署



わたしたち「みずもり会議」は、一九〇万人都市・札幌の水源地である南区の森林、そしてダムのある河川の重要さを広く市民のみなさんに知っていただき、この水源地域を後の世代に



また、九月二十四日には一昨年に続き、「国有林見学会」を行い、豊平川上流の治山低ダ



（みずもり会議代表 増田幸子）

わらずに残していくことを目指した団体です。平成十五年に活動を始め、平成十九年からは国有林・石狩森林管理署の協力を得た活動を展開しています。

昨年は夏休み期間中の八月五日、市内小中学校の先生方にダムの役割と水源地域の森林についてより深く知ってもらうための研修会を開催し、上流域の森林については石狩森林管理署に解説をお願いしました。



同会マスコットの「みず&もり」

ム群、広大な国有林とそこに張りめぐらされた林道に感動しました。

また、森づくりの実践として小樽内川上流国有林でのカミネツコンによる植樹も体験しました。

今年度最後の野外活動となった十一月一日には豊平峡ダム近くの国有林で育林の初歩として、枝打ち作業を体験し、腰ノコで、自分の背丈で届く範囲の下枝を落としました。仕事としてはささやかなものでしたが、林の見た目がきれいになりました。

今年も継続して育林に取り組む予定で、下刈り作業にもチャレンジしたいと考えているところですが、

森林に何を求め、何を期待するか

自老森林フォーラム
2008

胆振東部森林管理署



十一月二十一日（金）、白老町と胆振東部森林管理署の主催で「白老森林フォーラム2008」を同町総

合保健福祉センターにおいて開催し、約七十名の町民のみなさんが参加しました。

十八回目となった今回は、「森林」へ森林に何を求め、何を期待するかをテーマとし、北海道大学農学研究院の庄子康准教授と北海道立林業試験場の酒井明香研究員、むかわ町農林建設課の日月伸主任の三者による鼎談（※）により森林の恵みと暮らしについて様々な角度から議論が行われました。

森林の機能と役割について、両者のバランス、また、人間側の視点だけではなく「恵み」と捉えることの大切さ、観光資源としての森林や木質ペレットの現状の報告など内容は多岐にわたり、大変有意義なフォーラムとなりました。

（東本 流域管理調整官）
※三人が向かい合って話をすること。



ぬかびら源泉郷スキー場

十勝西部森林管理署東大雪支署

レク森紹介

スキー 行こう!



国有林には、その自然環境を活かした、すばらしいスキー場が広がっています。このコーナーではその魅力の数々を紹介していきます。

「源泉掛け流し宣言」ぬかびら温泉郷のスキー場

ぬかびら源泉郷スキー場は、十勝地方北部の大雪山国立公園内に位置する上士幌町の温泉地「糠平」にあります。今シーズンから地元の温泉ホテルが運営することになり、名称も新しくなりました。

スキー場の麓にある10件の温泉宿は全てが「源泉かけ流し」であることが自慢で、神経痛・冷え性・疲労回復に抜群の効果がある良質のお湯を誇っています。

湖を一望するスキーリゾート

標高1,280mの温泉山に作られたゲレンデは、2人乗りのロマンスリフト1基と4人乗り高速リフト3基により結ばれ、非圧雪コースや林間コース、初心者や小さい子どもでも安心なゲレンデ等、初級者から上級者・個人からグループまで楽しめるものとなっています。

山頂付近からは近年人気の旧国鉄士幌線アーチ橋梁群や、氷上のワカサギ釣りで賑わう糠平湖を一望することが出来ます。

スキーの後は温泉へ

パウダースノーを存分に滑ったあとは、リフトの1日券で温泉宿での入浴が割引になる等、温泉地ならではの嬉しいサービスもあります。
(※一部利用できない宿もあります。)

晴天率の高い十勝・糠平へ

冬の十勝地方は、晴天率が非常に高いので、今冬はぜひ、ぬかびら源泉郷スキー場で大雪の素晴らしいパノラマを眺めながら、心地よくスキーやスノーボードを楽しんでみませんか？

MAP



DATA

- 所在地 河東郡上士幌町糠平75
- アクセス 自動車 道東道・音更帯広ICから55*。
札幌から(旭川経由)263*。
旭川から133*。
釧路から(本別経由)150*。
バス JR帯広駅から約1時間40分
上士幌町から約30分
- 開設期間 平成20年12月20日から
平成21年3月末(予定)まで
- 問い合わせ 01564-4-2201
- ホームページ <http://www10.ocn.ne.jp/~nukaski/>

広報「北の森林 国有林」1月号 No.104

発行 北海道森林管理局

編集 保全調整課

〒064-8537 札幌市中央区宮の森
3条7丁目70

I P 電話 050-3160-6274

電 話 011-622-5231

F A X 011-622-5235

<http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/kyoku/>

訂正
12月号の16ページ「レク森をリフレッシュ!」が行われたのは十勝西部森林管理署東大雪支署でした。お詫びして訂正します。

交流発表会(局大会議室)
北の国・森林づくり技術
▽一月二十九日(木)
▽三十日(金)

▽一月五日(月)
御用始め

EVENT INFORMATION

行事・イベント情報